

男子バレー部



結果	
予選グループ	
第1試合	佐土原 0-2 日章
第2試合	佐土原 2-0 日向
決勝トーナメント	
1回戦	佐土原 2-0 大
2回戦	佐土原 0-2 都城工業

令和元年度 宮崎県高等学校 総合体育大会



水泳部



部門	記録	部門	記録
男子 50m自由形	第5位	女子 100m平泳ぎ	第5位
男子 100m自由形	第6位	女子 200m平泳ぎ	第5位
男子 400mリレー	第3位	女子 200m個人メドレー	第2位
男子 800mリレー	第5位	女子 400m個人メドレー	第1位
男子 400mメドレーリレー	第2位	女子 400mリレー	第6位
		女子 400mメドレーリレー	第5位

テニス部



宮崎県
高校総体
優勝
男子団体

部門	記録	氏名	部門	記録	氏名
シングルス	優勝	本田 嵩希	ダブルス	優勝	重信・日高組
シングルス	3位	荒武 葉生	ダブルス	2位	本田・歌津組
シングルス	3位	稲田颯太郎	ダブルス	3位	染矢・大河内組

バドミントン部



男子団体 結果	
2回戦	佐土原 3-0 西都農
3回戦	佐土原 3-0 日向
準決勝	佐土原 3-1 都城西
決勝	佐土原 3-3 都城工業
3回戦全敗	佐土原 0-3 聖心カトリック学院
男子ダブルス	本田 嵩希・田村 颯夫 ベスト8

卓球部

学校対抗戦 結果	
1回戦	佐土原 3-1 日向学院
2回戦	佐土原 0-3 延岡星雲

弓道部

近畿男子団体 結果	
予選 23中 / 60射	13位
決勝トーナメント	
1回戦	佐土原 5-7 宮崎学園



サッカー部

ウエイトリフティング部

男子団体	記録
男子団体	第3位
61kg級	第3位
67kg級	第3位



ラグビー部

結果	
1回戦	佐土原 28-21 延岡
2回戦	佐土原 17-33 延岡星雲

学校対抗戦 結果	
1回戦	佐土原 6-0 都城東
2回戦	佐土原 0-0 高鍋農業 延長1(0-2, 1-0)2

バスケットボール部

男子団体	
2回戦	佐土原 80-58 富島
3回戦	佐土原 71-41 五ヶ瀬
4回戦	佐土原 60-90 都城工業

野球部がバスケ部の試合の応援に駆けつけてくれました

電子機械科

第13回 高校生ものづくりコンテスト 宮崎県大会 旋盤作業部門で最優秀賞受賞!!
6月7日(金)・6月8日(土)に宮崎工業高校で実施された、ものづくりコンテスト旋盤作業部門に参加しました。
結果は3Bの三島 輝瑠君が最優秀賞(1位)を受賞しました。三島君は昨年度も参加し、今年度は悲願の1位受賞となりました。



通信工学科

第13回 高校生ものづくりコンテスト 宮崎県大会 電子回路組立部門で最優秀賞受賞!佐高3連覇!!
6月7日(金)・6月8日(土)に宮崎工業高校で実施された、ものづくりコンテスト電子回路組立部門に参加しました。
結果は3Cの谷 一希君が最優秀賞(1位)を受賞し、昨年に引き続き本校が3連覇しました。



**3年生 第2種電気工事士試験
2年生 陸上特殊無線技士試験
全員合格!!**
資格取得に向けて各学年とも日々努力を続けています。

情報技術科

3代目 防災アプリ開発中
「宮崎から全国へ〜つなげる〜〜広げる〜」を開発コンセプトに、先輩方が開発した防災アプリを引き継ぎ、全国で使える防災アプリを目指して開発しています。今回のアプリの特徴は、全国の避難所9万8千件のビッグデータを処理し、現在地から避難所までのルートを表示します。9月に配信予定です。ご期待下さい。



資格取得への取り組み
基本情報技術者修了試験に向けて2年生全員で頑張っています。応用情報技術者試験にも合格している生徒もいます。

産業デザイン科

宮崎県豊工業組合主催 公募「豊の未来展」に参加しました
豊を知る講義、ミニ豊づくりを体験し、約2ヶ月かけてポスター制作に取り組みました。



日々制作に取り組んでいます
産業デザイン科では実習室を自由に利用でき、それぞれが課題や公募、デッサン、ポートフォリオ(作品集)などの制作に取り組んでいます。

遠足

- 1年** 体育館～久峰公園
- 2年** 久峰公園～体育館
- 3年** 工業技術センター・テクノ中央公園

ご挨拶



校長 荒川 信一

本校4年目になりました校長の荒川です。保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年度1年間を振り返りますと、平常授業の充実はもちろんのこと、各学科の特色を生かしたものづくりや高度な資格取得、部活動の活躍、地域貢献、特別支援学校との交流等、幅広い分野で佐土原高校らしい活動をする事ができました。

中でも、生徒の国際的視野の育成とその切っ掛けづくりを目的として、修学旅行の一部を海外(台湾)とし、現地の高等学校2校との交流も行いました。生徒や教職員の反応を見ますと、「よかった、今後は専門分野を通じた交流がしたい」というような意見が多く聞かれ、初めての取組としては大成功だったのではないかと思います。本年度は、その中の一校、台中市立東勢工業高級中等学校と生徒連によるテレビ会議等も計画してまいりますが発展させていきたいと考えています。

さて、本年度も5月末から6月初めにかけて「宮崎県高等学校総合体育大会」と「高校生ものづくりコンテスト宮崎県大会」が開催されました。「高校総体」では、テニス部が昨年に引き続き団体優勝、その他多くの運動部が優秀な成績を残してくれました。また、「高校生ものづくりコンテスト」でも、電子回路組部門で通信工学科3年の谷一希君が最優秀賞を、旋盤競技部門では昨年度借しつても次点の優秀賞に泣いた電子機械科3年の三島輝瑠君が今回は最優秀賞を獲得するなど、ここでも素晴らしい成績を取ってくれました。中には思うような結果を残すことができなかった部活動や個人もありましたが、それでも昨年度以上に佐土原高校らしい活躍を見せてくれました。

これから7月に入ると求人票受付がはじまり、3年生が人生の大きな分岐点である進路決定の時期を迎えます。昨年度も、ほぼ全員の生徒が就職や進学先を決めて卒業しました。しかし、就職や進学の受験結果を見ますと、これまでのような知識・技能を主とした学業成績だけではなく、思考・判断・表現力や物事に主体的に取り組む態度、他者との協働性等も求められています。このような少子化による人材不足の状況の中でも特定の業種や公務員、人気の高い上級学校では依然職員とも決して気を緩められる状況ではありません。

ありません。だからこそ、生徒達は高等学校というこの人生の大きな分岐点で悔いの残らないように最大限の努力をしなければなりません。

本校は、進路目標達成と社会人として対応できる能力を身に付けるために、日頃から3つのルーティーン「①挨拶の励行 ②授業への積極的参加 ③清掃への専心」にも取り組んでいます。特に、学習面だけではなく、企業や上級学校が求める人間性の向上にも努めていきたいと考えています。

これからの保護者の皆さんの尚一層のご支援をいただきながら、地域に信頼される「安全で安心な学校づくり、魅力ある学校づくり」に力を注ぎたいと思っております。引き続きご協力をよろしくお願致します。

進路指導部より

進路指導主事 豊増 紀夫

パソコンで「yume」と打つと「努力」と返ってきました。「夢を叶える」には「努力せよ」ということか、と勝手に解釈しています。生徒一人一人が自分の夢に近づき、将来、社会に貢献できるようにすることをサポートするのが進路指導部の仕事です。

佐土原高校は、情報技術を基礎として高度情報化と先端技術に対応できる人材の育成を目指して創立されました。創立当時の社会は、「Society4.0(いわゆる第三次産業革命のまっただ中で、Windowsが発表されたころ)」と呼ばれる情報化社会のスタートの時期です。では今はと云うと、「ビッグデータ、AI」といった技術革新(第四次産業革命)によって、産業だけでなく、私たちの生活スタイル、労働、余暇の過ごし方などが変化していく新たな社会「Society5.0」と言われています。多くの分野で変化が起きていることが予想される。これからの社会で、自分の役割を確立して、社会の中での自分の居場所を確立して、社会のもつ様々な課題に積極的に取り組むことができ、社会に貢献できる人材を育成していくことが重要であると考えています。

そのためには、
(1)「人ありて技術」(技術とは、感性の表現であり、人柄や人格を含めた人間そのものである。ものづくりを行うことで、心豊かな人づくりができること。)
(2)3つのルーティーン(①挨拶の励行 ②授業への積極的参加③清掃への専心)
(3)専門的な技術の習得
を常に、意識することが大切であると思えます。
生徒の皆さん、努々怠るなかれ。
「君たちは帆を上げろ。私たちは風を送る。」

ご挨拶

PTA会長 上杉 正憲



令和元年度 PTA役員
PTAでは今年度も各種研修、バザー行事など実地予定であり、ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

九州地区高P連「福岡パリよかつ大会」

渉外厚生部 富永 美貴

「福岡パリよかつ大会」なんと気合いの入ったネーミング。そしてその名の通り大変力が入った大会でした。会場は福岡国際会議場でしたが数多く行われる福岡国際会議場では、そこに着くと明太子色のTシャツを着た役員の方々がきばきと動き回っているのが目に飛び込んで来ます。

今大会は「未来人材育成 新しい時代を切り拓け」というテーマで、子ども達を未来の日本の人財としてどのように育てるか、子どもの夢の実現のために親としてどのような支援を行うかという発表・協議が行われました。私が参加した第2分科会では、キャリア教育としてPTAが地域の職業人に高校生への講演を依頼するという活動が発表されました。保護者の方が地域の知り合いも多くいろいろなところで繋がっているのので、教員よりも適任者を探しやすいのではないかと思います。そしてその職業の方に、自分が高校を卒業してからどのような手順で今の職業に就いたのかを話して頂いたそうです。高校生から地元で就職して貢献したいという前向きな感想が寄せられたそうです。

どの高校も佐土原高校のPTAで行っているあいさつ運動、文化祭バザー、大学訪問などを行っていることもわかりました。

閉会式では来年度の開催県である宮崎県の参加者が、横断幕のぼり旗を持ってステージに上がり、宮崎県連の黒田会長のかかげ声に合わせて、「日本のひな宮崎県でまっちゃんよよ」と来年への意気込みを伝えました。また、一緒に参加して下さった役員の方々も、来年の宮崎大会のために、他校の役員さん方と名刺の交換をして交流を深めて下さいました。打ち合わせや運営がスムーズに行くと思っています。

来年度の宮崎大会はシーガイアで行われます。会場として福岡に引けを取らないと思えます。あとはスタッフとして力を合わせて、九州各県から来られるPTAの方々をお持て成しし、成功に向けて頑張りたいと思っております。PTA役員の皆様、よろしくお願致します。

PTA朝のあいさつ運動

6月25日(火)・6月28日(金)にかけて、3年生の保護者で第一回PTA朝のあいさつ運動を行いました。

卒業生の話を聞く会 学科別保護者会 3年進路説明会

6月15日(土)に卒業生の話を聞く会、学科別保護者会、3年進路説明会が開催されました。

卒業生の話を聞く会の今年度の講師は、椎葉智彦さん(2016年電子機械科卒、鹿児島大学工学部機械工学科3年生)と、堀部笑歌さん(2016年情報技術科卒、SCKニアショアシステムズ株式会社勤務)の二人にお話しいただきました。椎葉さんからは現在通っている大学の紹介をはじめ、生活費、大学での勉強内容などについてお話しいただきました。一方、堀部さんからは高校卒業後に就職を選んだ理由や、企業選定のポイント、入社してから年間スケジュールなどを詳しく紹介していただきました。入学後も努力を続ける先輩の姿に、生徒もよい刺激を受けたのではないかと思います。

学科別保護者会では、実習内容の説明や、実習室の見学ツアーなどが行われました。進路実現に向けて具体的な行動をスタートするこの時期、各自が進路について理解を深める良い機会となりました。お足元の悪い中お越しいただきありがとうございました。



令和元年度職員紹介

Grid of photos and names for staff members across various departments: 国語科, 地歴・公民科, 数学科, 保健体育科, 家庭科・芸術(音楽)・理科, 英語科, 電子機械科, 通信工学科, 情報技術科, 産業デザイン科, 事務部, 高野連事務局.